

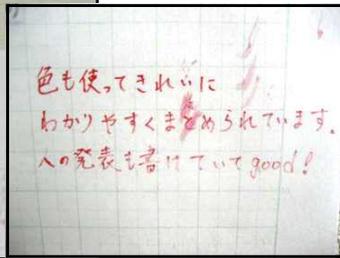
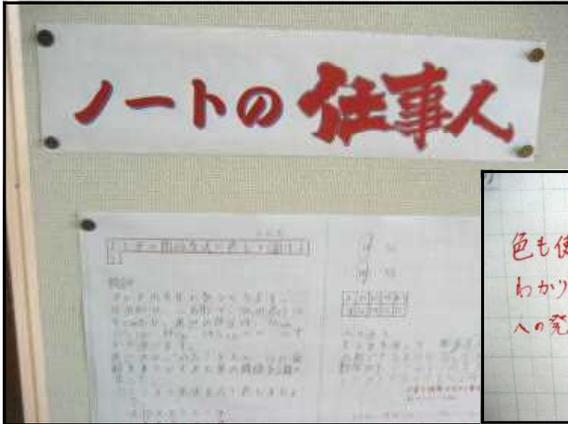
# 校長だより

和歌山市立八幡台小学校

2022.5.19

NO, 1 4

## ノートは宝物



「ノートは宝物」ということで、子どもたちの「学び」を充実させる要素としてノート指導を大切に考えています。デジタル化していく世の中ですが、自分の「考えを文字として表現する」ことの大切さはとても重要なことであると考えています。己の考え、思い、願いなど、自分の心・頭にあるものはそのままでは自分以外に伝えることはできません。インプットしたものをアウトプットする、そのためには「言語化」することがとても重要になってきます。また、自分の考え、思い、願いなどを整理し広げ、深めるためにも言語化することが重要であるにとらえています。そういったことを踏まえ、学校では子どもたちに「ノートは宝物」と「かく」ことをしっかり指導するようにしています。

6月の参観では、校内・教室掲示を見ていただき、学校が大切に考えている「ノート指導」についてご理解いただければと思っています。



## デジタル&アナログ

黒板は、子どもたちの「活躍の場」と考えています。意見を出し合い、練り上げ、まとめる。それに大きな役割を果たしています。

また、タブレットパソコンも子どもたちの「学び」に大きく貢献するであろうと考えています。デジタル&アナログ、ともに効果的に活用し、子どもたちの「学び」をしっかり支えていければと思っています。